

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和7年8月6日(水)・9月12日(金)		
事業名	千葉県社会教育担当者研修会		
趣 旨	社会教育主事及び社会教育士、社会教育担当者等を対象に、今後の社会教育や社会教育施設の在り方について理解を深めるとともに、実践的な技術を身につけ、資質の向上を図る。		
会 場	オンライン		
対 象	県・市町村社会教育主事及び社会教育担当者、社会教育士等		
申込方法	W e b 申込み		
募集定員	各回40名	募集期間	令和7年4月23日から令和7年9月5日
参加者数	第1回 22名 第2回 23名	参加費用	
講師 等	第1回 皆川 雅樹 氏 【産業能率大学経営学部 教授】 第2回 青山 鉄兵 氏 【文教大学人間科学部人間科学科 准教授】		
実施内容	共催:千葉県公民館連絡協議会 第1回は、「社会教育・生涯学習の基礎・基本とその可能性」をテーマに社会教育の定義や生涯学習の理念など基礎的な知識・技術の習得を目的とし、比較的経験年数が少ない社会教育担当者を対象とした内容の講義。 第2回は、「社会教育と地域づくりをつなぐ職員の役割～近年の動向をふまえて～」をテーマに、主に社会教育担当者として3年以上の経験者を対象として現場で活用できる実践的な内容を展開する講義。		
参加者アンケート	【満足度総合 100% (第1回100% 第2回100%)】 ・社会教育・生涯学習に関すること（特に基礎的なこと）を学べたことはたいへんよかったと思いました。また、実際に業務を行っている方々のお話（チャット）を伺えてよかったと思いました。 ・大学で社会教育主事課程を学習し、今年度から公民館の職員として入職して事務作業に追われる傍らで講座や学級の運営などを行わなければならない環境下において大学で学んだことを活かしかれておらず余裕がなかったが、改めてこのような機会に参加できたことでもう一度生涯学習・社会教育とは何なのかということのを再認識できたことがとても身になる研修だった。 ・基礎を学びなおすことができました。調査＝いろいろな人の声を聞くことだと思いますので、利用者の他、研修で一緒させていただいた方など、いろいろな立場の方と意見交換に努めたいと思います。本日は、ありがとうございました。		

	・「地域づくり」と社会教育との関係について、普遍的な役割と改めていま求められていることを整理することができました。社会教育士と社会教育主事のそれぞれの役割や専門性（共通するところと別の特性）についても考えていきたいです。 ・青山先生の講義は講座を企画する私にとってとてもためになります。何のためにするのか、目的の重要性を再認識させていただきました。地域の方々に寄り添いながら、困りごとに対して少しでも手助けできる講座を増やしていければと思いました。ありがとうございました。 ・公民館で働く職員です。資格などは持っていないため、新しく事業をするときのポイントを整理して考えることができました。ありがとうございました。今後は、社会教育士の資格についてと、資格保有者の方たちとどうやってつながりを持っていったらよいか知れたらいいなと思いました。
担当者の 所感	【成果】 ・本事業の趣旨である「社会教育の定義や生涯学習の理念など基礎的な知識・技術の習得」「現場で活用できる実践的なスキルの習得」については、参加者アンケート結果から、「理解できた」「ほぼ理解できた」割合が92%であった。講座内容の充実や講師の話し方が分かりやすかったことが要因であると考え。 ・実施形式については、オンライン（Zoom）形式で行った。受講者は、所属先より研修に参加することができるため、県内広範囲にわたっている。 ・第2回については、受講者の書き込みがリアルタイムで画面に映し出されることで、他の受講者の意見・考えを共有することができ、実践的で有意義な研修となった。 【課題・今後の方向性】 ・研修内容の記載については、第1回及び第2回それぞれに「基礎編」「上級編」と付け加えたこと、また推奨する受講資質（経験年数等）を表記したことで、個々の経験年数に応じた申し込みができたと考えられる。今後も継続していきたい。 ・講座内容と講師の選定については、アンケート結果を参考に、参加者が求める内容を加味したうえで必要な知識等を身に付けられるように研修を企画していきたい。 ・研修の周知及び受講申込みについては、第1回研修日の約2か月前から行っている。第2回の研修日からはおよそ3か月前になることから、それぞれ研修日の約2週間前後に再度メールでの周知を行うことで受講者の増加を促したい。